

外科を受診される患者さんへ

研究に対するご理解・ご協力をお願い

練馬総合病院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加されることによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。この案内をお読みになり、ご自身が本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に『ご自身の診療情報を使ってほしくない』とお思いになられる場合は、後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2017年4月1日～2021年3月31日の間に、練馬総合病院において大腸癌手術を行った方

【研究課題名】

「当院における大腸癌に対する開腹手術と腹腔鏡手術の比較」

【主任研究者】

練馬総合病院 外科 医員 浅田 祐介

【目的】

我が国において大腸癌は増加しており、治療成績のさらなる向上が求められております。特に、治療の中心となる手術においては、腹腔鏡手術（新しい治療）の開腹手術（標準治療）に対する優位性の有無、腫瘍学的非劣性の担保等が盛んに議論されておりますが、その研究・報告は十分ではございません。

本研究では、当院で大腸癌に対して開腹・腹腔鏡下大腸癌手術が施行された患者さんの診療記録から、短期成績（手術時間、出血量、リンパ節郭清個数、術後合併症率等）、長期成績（全生存期間、無再発生存期間等）等を抽出・検討することで、腹腔鏡手術（新しい治療）の開腹手術（標準治療）に対する優位性、腫瘍学的非劣性等の検討を行うことを目的としています。

本研究により、今後のより良い治療法の選択に役立つ情報が得られると考えています。

【利用するカルテ情報・資料】

短期成績（手術時間、出血量、リンパ節郭清個数、術後合併症率等）、長期成績（全生存期間、無再発生存期間等） 等

【研究期間】

倫理委員会承認後より 2021年3月31日までを予定しております。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する患者さんの診療情報は、「個人情報管理者」（浅田 祐介）が責任を持って匿名化（どの患者さんの情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたもの）データとした上で、解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保管・管理し院外への持ち出しは行いません。本研究の結果は学会等において公表することを予定しておりますが、その際にも、個人の特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名化のまま廃棄します。

【問い合わせ先】

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとのご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので、遠慮なくお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、患者さんやそのご家族の方が病気の治療を行う上で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

本研究に関するご質問、お問い合わせがあります場合、またはご自身の診療情報について開示・訂正のご希望があります場合には、下記連絡先までお問い合わせください。

皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先

練馬総合病院 外科 医員 浅田 祐介 （個人情報管理者・研究責任者）

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

電話：03-5988-2200（代表） FAX：03-5988-2250